



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年7月29日

## 短命県返上を目指し、集団健康診断を開催

### 問屋町健康事業

今年度1回目となる集団健康診断が6月14日(火)から16日(木)の3日間、問屋町会館2階で行われた。今回は、組合員従業員207名、員外従業員79名、計286名が受診した。

平均寿命全国最下位の青森県では、短命県返上のキャッチフレーズのもと様々な施策を展開している。当組合でも

平成26年に問屋町健康事業を立ち上げ、青森市南部の健康づくりの拠点となるべく積極的に健康事業に取り組んでいる。

同事業の一環として、当組合で実施している集団健康診断を、実施団体の協力を得て

近隣企業にも広く広報し、積極的な受診を促している。また、健診メニューの充実も図

っており、一般健康診断に加え、生活習慣病予防健診(協会けんぽ)、がん検診(胃部レントゲン検査、腫瘍マーカー検査ほか)、VDT健診(パソコンディスプレイによる目の疲労)も新たに加わった。

さらに、今年度からは「問屋町地区健康診断」もスタート。一般市民対象の健康診断を問屋町会館で実施してもら

い、問屋町での開催回数を増やし、より受診しやすい環境づくりを図っている。

そのほか今回の集団健康診断では、健康チェック特設コーナーを設け、会場内に体組成計と血管年齢計を設置した。

体組成計は、体重や体脂肪率、脂肪量、筋肉量などを数十秒で測定。測定結果はその場でプリントアウトされ、基礎代謝量や内臓脂肪レベル、体型判定などがわかりやすくグラフや図で表示される。体組成計は普段は問屋町ストアに設置されており、誰でも無料で気軽に利用できる。血管年齢計は青森市より借用したもので、指先を機械にかざすだけで簡単に自身の血管年齢が測定される。

どちらも利用者からは大変好評を得ており、今後も集団健康診断実施時のほか、定期

的に健康チェック特設コーナーを設置し、健康づくりに活用してもらおう。

組合では今後、企業内の健康づくりリーダー育成を図る「問屋町健やか隊員育成研修」の開催や、組合員従業員

に定期的な具体的な健康情報を提供する「とんやまち健やかLetter」の発行を予定しており、これまで以上に問屋町健康事業を充実させていく。



集団健康診断



健康チェック特設コーナー



問屋町ストアに設置された体組成計

## パソコンリサイクル収益金を寄付

6月23日(木)、当組合が平成27年度のパソコンリサイクル回収事業で得た収益金を障がい者施設2社に寄付した。担当委員会である大平環境対策委員長が各施設を訪問し、代表者に目録を手渡した。同事業は不要となったパソコンを排出する組合員の処分費用低減と、パソコンの分解作業に携わっている障がい者の雇用創出という双方にメリットがある取り組みとなっている。

寄付先の施設の関係者は「障がい者施設への支援の輪は年々広がっているが、まだまだ受託作業が不足している。パソコンの分解作業はとてもしっかりのある作業で、楽しんで作業しており、今後も続



大平委員長(左)が目録贈呈

問屋町納涼パーティーの開催と承認  
第3回理事会

6月27日(月)に第3回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、北日本流通ヴァン(株)の平成27年度決算、問屋町従業員モニターの委嘱、集団健康診断の実施、空き缶及びペットボトル回収・パソコンリサイクル回収による収益金の寄付、蛍光灯共同回収事業の今後について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。  
案件一・労務対策委員会からの意見について

健康的なダイエットについて学ぶ  
同友会会員交流会

問屋町の若手経営者や後継者らにより組織される青森問屋町経営同友会の第19回会員交流会が6月21日(火)、ホテル青森で開催された。

今回の交流会では、会員である(有)ベストスマイル青森の大里社長が自社紹介を行った。自身が院長を務める接骨院や問屋町に事務所を構える訪問介護サービス、今年1月に問屋町に新築した通所介護リハビリ施設について説明した。自社紹介後には、柔道整復師であり、日本体育協会アスレティックトレーナー、JOC

問屋町納涼パーティーの開催や28年度労務対策事業の予定についてなどが承認された。案件二・環境対策委員会からの意見について

団地内巡回警備の見直しや問屋町防災訓練の実施についてなどが承認された。

案件三・組合員施設の賃貸について  
案件四・組合員の倒産処理について  
案件五・会計システムの買替えについて  
案件六・組合員跡地買取資金の借換について

案件七・役員退職慰労金の支給について  
案件八・平成28年度役員報酬

C強化スタッフ、現役のプロ総合格闘家でもある同社長による「食事戦略」健康的にダイエットしたい皆さまへ」と題したミニ講座も実施。

大里社長は「痩せるには食べる順番が大事。食物繊維は、最初に食べることで脂質を吸着するフィルターの働きを促す。血糖値上昇や体脂肪蓄積を考慮して、野菜から食べて最後に炭水化物で締めるのが、ダイエットには効果的」とアドバイス。

また「ダイエットのために食生活に気をつけるのはもちろんだが、痩せやすく太りにくい体を作るため、筋トレを実施してほしい。筋肉量を増やし、基礎代謝をアップさせ

について  
案件九・平成28年度第4回理事会の日程等について  
理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第36回定時総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)の第43回定時総会が6月28日(火)、問屋町会館1階会議室で開催された。総会には同支部会員41名に加え、来賓として青森警察署の堀井安全係長、乳井主任並びに青森交通安全協会

死亡事故ゼロ7千日達成を目指す  
安協問屋町支部定時総会

青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)の第43回定時総会が6月28日(火)、問屋町会館1階会議室で開催された。総会には同支部会員41名に加え、来賓として青森警察署の堀井安全係長、乳井主任並びに青森交通安全協会

の飛行専務理事が出席した。総会では多田支部長が議長を務め、問屋町内交通死亡事故ゼロ7千日達成(平成28年12月26日予定)を目指す28年度事業計画等が原案どおり承認された。

また、総会に先立ち、平成27年度問屋町交通安全街頭指導の表彰が行われ、功労賞受賞者64社を代表して、正善商事(株)並びに(株)青森共同計算センターに賞状と記念品が手渡された。

総会終了後には乳井主任による「職場における安全運転指導について」と題した講演会が行われた。

乳井主任は「会社の業務中

ることが肝心である」とまとめ、参加者は最後まで興味津々で聞き入っていた。

その後行われた懇親会では、参加者はサラダから口にするなど、アドバイスを早速実行していた。

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)と問屋町経営同友会(同友会)の第15回合同ゴルフコンペが6月4日(土)、津軽カントリークラブで開催された。今回は、青友会、同友会の会員ら32名が参加し、過去最多の参加者数となった。青友会前田会長の挨拶の後、8組に分かれスタート。珍プレー好プレーに一喜一憂しながらラウンドを楽しんだ。プレー終了後には同クラブレストランにて表彰式が行われ、(株)メデイセオの成田マネージャーが4度目の優勝を



同友会 会員交流会

過去最多の32名が参加  
合同ゴルフコンペ

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)と問屋町経営同友会(同友会)の第15回合同ゴルフコンペが6月4日(土)、津軽カントリークラブで開催された。今回は、青友会、同友会の会員ら32名が参加し、過去最多の参加者数となった。青友会前田会長の挨拶の後、8組に分かれスタート。珍プレー好プレーに一喜一憂しながらラウンドを楽しんだ。プレー終了後には同クラブレストランにて表彰式が行われ、(株)メデイセオの成田マネージャーが4度目の優勝を

獲得した。次回の合同ゴルフコンペは、9月10日(土)、青森カントリー倶楽部で開催予定である。



合同ゴルフコンペ



安全運転指導講演する乳井主任

に従業員が事故を起こした場合、個人だけでなく、会社にも責任が発生し得る。安全予測(常に「かも?」を予測しながら運転)。安全確認(停まってしっかり確認)を徹底するよう職場で指導してほしい」と話した。

合い言葉はリサイクル!  
循環型社会を目指して...

製紙原料問屋 (古紙類・機密文書他)

株式会社 伸和産業

青森中央営業所 青森市問屋町2-12-14 TEL(017)764-2755  
青森西営業所 青森市油川字岡田122 TEL(017)787-3455  
本社 弘前市堅田1丁目4-2 TEL(0172)35-5255

車の整備はまかせて安心

(株)問屋町カーサービス

〒030-0131 青森市問屋町一丁目13-20  
電話(017)738-4505 FAX(017)738-4556

問屋町たんしん

①問屋町健やか隊員育成研修

【新規事業】

日時 9月14日(水)

9時～16時30分

場所 問屋町会館

参加料 無料

定員 40名

②問屋町若手従業員親睦交流会

日時 9月16日(金)

19時～21時

場所 ホテル青森

参加料 2,100円(税込)

定員 40名

お申込み・お問い合わせは、  
卸センター業務部(☎738  
14711)まで

業務報告

…主要事項…

- 6月
  - 1日▽商団連ワーキング委員会
  - 2日▽商団連事務局長会世話人会
  - 4日▽第15回青友会・同友会合同ゴルフコンペ
  - 6日▽北日本流通ヴァン(株)第26期定時株主総会
  - 7日▽県中央会理事會
  - 7日▽青友会第9回定時総会
  - 12日▽大星神社敬神会役員会
  - 13日▽津軽海峡ブランド開発促進委員会
  - 14日▽第1回集団健康診断(16日、29日)
  - 15日▽金融審査会
- ▽青森経済同友会通常総会・講演会
- ▽(株)ソフミアカデミーあおもり定時株主総会
- 17日▽青森県火災共済協役員会
- 19日▽第1回緑のボランティアア隊
- 20日▽第1回労務対策委員会
- 21日▽第1回従業員モニター会議
- 22日▽同友会第19回交流会
- 22日▽ブラザあおもり88監査会・総会・役員会
- 23日▽第3回問屋町合同清掃
- 24日▽第1回環境対策委員会
- 24日▽商団連通常総会
- 27日▽第3回理事會
- ▽青森問屋町配送(株)第36回定時株主総会
- ▽青森県中小企業診断協

会理事會・通常総会  
28日▽安協問屋町支部第43回定時総会

▽市高度化事業団体連絡協議会理事會・通常総会

…問屋町  
ビジネススクール…

- 2日▽ビジネススマナー研修(挨拶、名刺交換編)
- 7日▽営業実践トレーニング①
- 9日▽営業実践トレーニング②
- 11日▽新入社員研修(フォローアップ)
- 14日▽ストレスケア研修①
- 16日▽ストレスケア研修②

経済雑感

第七十五回

青森大学 社会学部 教授 櫛引 素夫

【新幹線・第3の開業(上)】

北海道新幹線が3月26日に開業し、初めての夏が訪れた。青森県にとっては、2002年の八戸開業、2010年の新青森開業、次ぐ「第3の開業」となった。3度の新幹線開業を経験したのは、全国で青森県だけだ。

八戸開業は、青森市民にとって「まだ遠い世界の事」ではあった。しかし、盛岡駅の新幹線ホームからとほとぼと地上の東北本線ホー



青森大学 社会学部 教授 櫛引 素夫 氏

第37弾となる今回の経済雑感は、青森大学の櫛引教授にご寄稿いただいた。

ムを目指すものの悲しさからは解放された。一方、八戸市民が得た収穫は、まちの全国的な知名度が実力相応に上がったこと、賃相だった八戸駅と周辺が立派になったこと、そして市内の連携力が強化されたことだったという。観光客の増加などより、シビック・プライドや基礎的な地域経営力の向上が、最大の果実だったというのだ。

新青森開業の後、弘前市でも同様の声を聞いた。「市民が自ら行動する自信と力を得た」「街の市場の人々が自然に観光客を受け入れるようになった」「行政と経済界、観光光業界の連携が進んだ」。県

市に帰るたび、余りに後ろ向きな空気に驚いていた。半面、50人もの高校生が団機にまわつき、新幹線開業を契機にまわつき、彼らは後にNPO法人「クリエイト」をつくり、高校生を社会人と大学

生が育てる取り組みに乗り出した。市民による、市民のための市民づくり。「観光」「経済効果」という上滑りしがちな言葉を突き抜けた活動が生まれた。幸い、市内を覆っていた空気は、北海道新幹線開業時には薄れていた。青函交流にとどまらず、「津軽」「南部」「下北」という、考えようによっては県境よりも厚い壁を乗り越える県内のネットワークも姿を現した。

青森市は全国で最も人口減少が激しい県庁所在地だ。「第3の開業」は、運賃の大幅値上げなどマイナス面もある。だが、後戻りできない。どう、前へ進むか。地域の知恵と力が試される。(つづく)



積水ハウスのグループ 積和建設のリフォーム

戸建・マンション・店舗 一般木造・鉄骨造・コンクリート造・その他

積和建設東北株式会社 青森事業所 〒030-0131 青森市問屋町1丁目13-10 TEL 017-764-3622

農林業・汎用機械 卸/販売/サービス

株式会社 ガスデン

ホンダ ヤマハ セノア オーレック その他 除雪機 発電機 草刈機 耕うん機 など 家庭、事務所に、小型でちょっといいモノを

青森市第二問屋町4丁目2-26 TEL: 017-739-7422 E-MAIL: gasuden@k4.dion.ne.jp FAX: 017-739-8186

不動産登記・調査・測量・境界確定

平尾測量登記事務所

土地家屋調査士 平尾 健吾

〒030-0919 青森市はまなす1丁目16番6号 TEL 017-718-4577 FAX 017-718-4578

おいしいお菓子づくりのお手伝い

お菓子とパンの原料専門店

(株) 元木商店

本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061 弘前店 弘前市大字神田一丁目5の6 TEL 36-4741 八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755

### 問屋町を明るく彩る 緑のボランティア隊

「問屋町緑のボランティア隊」が今年度の活動をスタートさせた。

6月19日(日)に行われた同活動には、ボランティア隊員やその家族のほか、八ツ役五又路交差点南側緑地を組合へ無償貸与している(株)西田組の従業員も合わせ、30名が参加した。

今回の作業は「花苗植栽作業」。植栽する花苗の一部は、例年同様、青森市(青森市地域花いっぱいまちづくり事業)より提供され、問屋町北



問屋町緑のボランティア隊



五又路交差点にマリーゴールド植栽



北口広告棟周辺にキョウチクトウ植栽

口広告棟周辺にキョウチクトウ130ポット、五又路交差点南側にはマリーゴールドを1,800ポット植栽。当日は天候にも恵まれ、参加者は2班に分かれて、1つ1つ丁寧に花苗を植え付けていき、問屋町に新たな彩りをもたらした。

問屋町緑のボランティア隊は平成18年に結成され、今年で活動11年目を迎える。隊員数も結成時には24名であったが、現在は66名と3倍近くとなり、活動の範囲も大きく広がった。

同隊の今後の活動は、問屋町全域の街路樹下枝刈りや街路樹と歩道の除草作業を行う予定となっている。問屋町の景観美化向上に多大な貢献を果たしている問屋町緑のボランティア隊に、ますます期待が高まる。

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年4月に赴任された、(株)みちのく銀行問屋町支店の沢井支店長にお話を伺った。

現在の取り組み等について尋ねると、「当行では『お客様と地域社会から最も信頼される銀行へ』を目標に、平成27年4月から第四次中期経営計画を実施しております。第三次中期計画までは営業体制の見直しやシステムの変更等、攻めの基盤を作ることに注力しておりましたが、今次計画は、これまで蒔いてきた種を実らす時と位置付けております。特に今年の10月で、お蔭様を持ちまして、みちのく銀行が誕生し40年の節目を迎える事

となり『10年後のありたい姿への道筋をより確かなものにしよう』と社員一丸となって頑張っております。

当店においては、立地的にも法人のお客様取引が多い事から法人営業が鍵になると感じております。今次計画ではお客様とのパートナーシップ強化として、事業性評価を基にしたビジネスマッチングや、経営改善支援等の活動を展開しております。



(株)みちのく銀行 支店長  
問屋町支店 沢井 崇 氏

具体的には、お客様を訪問し事業内容を知る↓「営業利益貢献活動」の実施↓ビジネスパートナーとしてのお取引確立↓10年後の当行のあるべき姿、といったイメージです。行員が会社へお邪魔する機会が多くなると思いますが、

おお客様の営業利益向上に貢献すべく、タイムリーな情報提供及び提案をしたいという思いからです。その際はよろしくお願ひします」と語った。

新任地での目標について尋ねると、「支店内の取組としては風通しの良い職場環境の第一として考えております。寝ている時間を除くと、家族といる時間より職場の人間と接している時間の方が長い事から、コミュニケーション(意思疎通)は重要だと考えています。当店は私を含め14名体制であり、全ての職員が同一フロアで仕事をしている事から、気軽に全員と話が出来る環境にあります。以前の上司か

の良き職場環境を第一として考えております。寝ている時間を除くと、家族といる時間より職場の人間と接している時間の方が長い事から、コミュニケーション(意思疎通)は重要だと考えています。当店は私を含め14名体制であり、全ての職員が同一フロアで仕事をしている事から、気軽に全員と話が出来る環境にあります。以前の上司か

### 編集後記

今号では、集団健康診断をはじめとして、今年度3年目となる当組合の健康事業の取組みをご紹介しますが、ここでは「組合が、なぜ健康事業に取組むことになったか」について説明します▼その理由には二つあって「ネガティブな理由」と「ポジティブな理由」です▼「ネガティブな理由」の第一は、無論「青森県が平均寿命全国最下位」です。しかし、それ以上に「全国市町村の平均寿命ランキングで青森市が全国の下から4番目だった」ということがショックなことでした▼このことは、県内市町村で青森市がダントツの第一位というだけでなく「青森県の平均寿命全国最下位」の大きな責任が実は青森市にあったということですが▼また、その死亡原因の第一が「働く人の現役死だった」ということも大きく重い事実としてありました▼これは働く人にとっては自分と家族の死活問題であり、企業にとっては中核の働き手を失う深刻な事態を意味します▼そして大きな職域を形成している卸団地にとっては、率先して真剣に取組むべきCSR(社会的責任)の課題でもあるということですが▼次に「ポジティブな理由」ですが「生産人口の減少の中、労働力の維持・確保はこれまでに重要であり、そこで必須なのが『健康経営』である」という考えです▼ということと、次号では健康経営の第一人者として知られる東京大学特任助教で医学博士の古井祐司氏の「会社の業績は社員の健康状態で9割決まる」をご紹介します。(藤本)

平成 28 年 10 月、みちのく銀行は 40 周年を迎えます。

地域との絆を  
むすぶ銀行へ。

家庭の銀行  
**みちのく銀行**  
問屋町支店 ☎739-1100

TOM AND JERRY and all related characters and elements © & ™ Turner Entertainment Co. (16)

ユニフォーム & イベント

**正善商事株式会社**

〒030-0131 青森市問屋町1-6-22  
TEL 017-738-2450(代)  
FAX 017-738-2664

「花笠カチューシャ」と  
「かんタッチゆかた」